(19)日本国特許庁（ＪＰ）　(12) 公開特許公報（A）　(11)特許出願公開番号
特開2002－286104
(P2002－286104A)
(43)公開日　平成14年10月３日(2002.10.3)

(51)Int.Cl.'	識別記号	ＦＩ	ﾃｰﾏｺｰﾄﾞ(参考)
Ｆ１６Ｈ　7/08		Ｆ１６Ｈ　7/08	Ｚ　３Ｊ０４９

審査請求 未請求 請求項の数6 ＯＬ （全９頁）

(21)出願番号　特願2001－90517(P2001－90517)

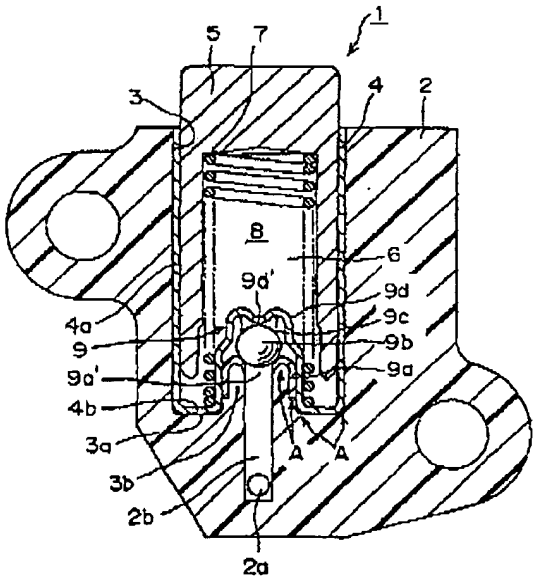
(22)出願日　平成13年３月27日(2001.3.27)

(71)出願人　000003355
株式会社椿本チエイン
大阪府大阪市中央区城見２丁目１番61号
(72)発明者　渡江　勉
大阪府大阪市鶴見区鶴見４丁目17番96号
株式会社椿本チエイン内
(72)発明者　井上　幸三
大阪府大阪市鶴見区鶴見４丁目17番96号
株式会社椿本チエイン内
(74)代理人　100111372
弁理士　津野　孝　(外２名)

Ｆターム(参考)　3J049 AA01 AA08 BB13 BB17 BB28
BB33 BC03 BC08

(54)【発明の名称】　油圧式プラスチック製テンショナ

(57)【要約】
【課題】　テンショナのボディの軽量化、ひいてはテンショナの軽量化を図ると共に、プランジャとの摺動部を補強すること、プランジャをボディから突出するために設けられている圧縮ばねを利用することにより、別部材のスナップリングなどのシリンダ用の留め具を不要とし、シリンダの抜け出しを防止できるようにすることを目的とする。
【解決手段】　ボディをプラスチック製とし、ボディ２に形成された円形孔３に嵌入された金属製のシリンダ４と、プランジャ５と、チェックバルブ機構９とで油圧式プラスチック製テンショナ１を構成する。チェックバルブ機構９のボールシート９ａを円形孔３の底部に設け、チェックボール９ａにリテーナー一体型のシリンダ４のリテーナ９ｄを圧入して、円形孔にシリンダを保持する。

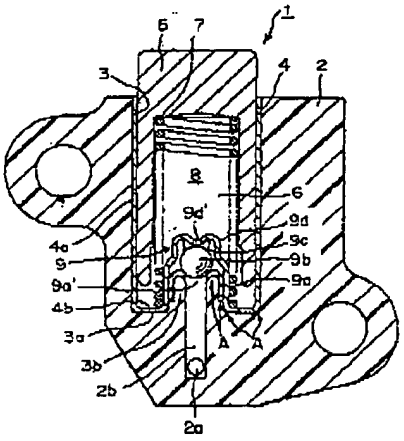


PAGE 23/25 * RCVD AT 9/6/2006 7:08:59 PM [Eastern Daylight Time] * SVR:USPTO-EFXRF-2/12 * DNIS:2738300 * CSID: * DURATION (mm-ss):05-48

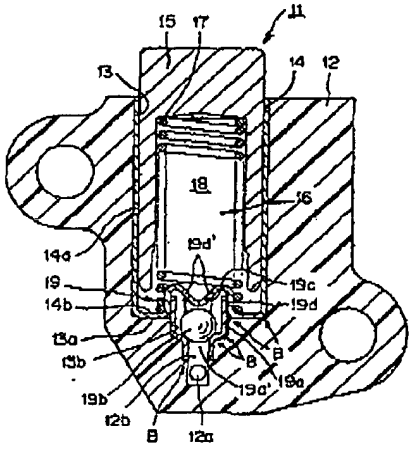
BEST AVAILABLE COPY

9c、19c、29c、39c：・スプリング
9d、19d、29d、39d・・リテーナ
13b・・小径円形孔
29e・・凸形部
42c・・切欠部
44d・・突片
44e・・軸孔
45a・・ラチェット歯
50・・プランジャの後退変位防止機構
50a・・ラチェット爪体
50b・・ラチェットばね
50c・・軸
52・・Oリング
A、B・・屈曲部位

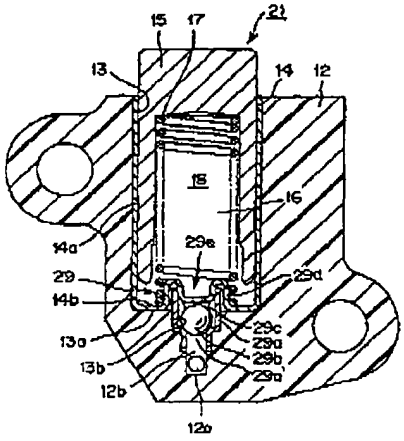
【図1】



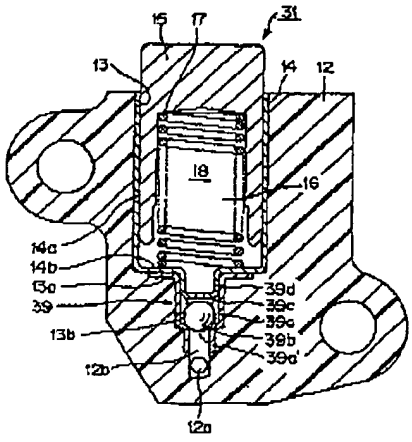
【図2】



【図3】

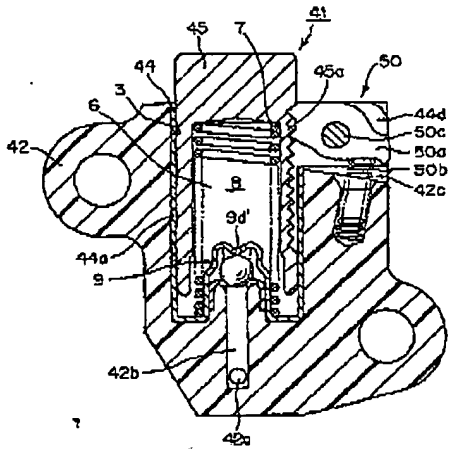


【図4】

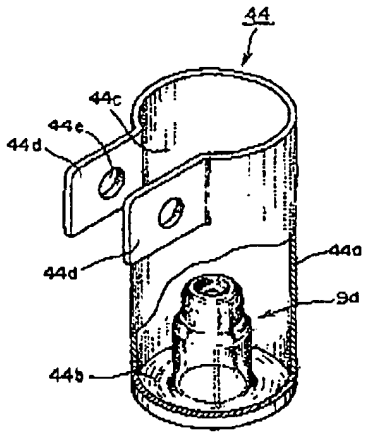


BEST AVAILABLE COPY

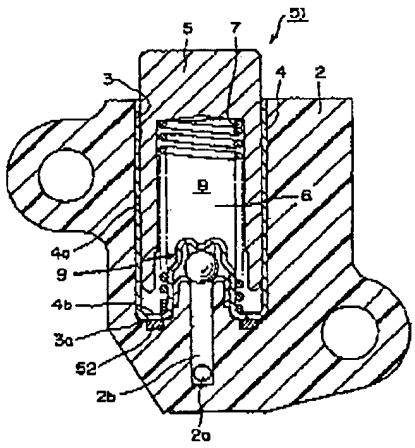
【図5】



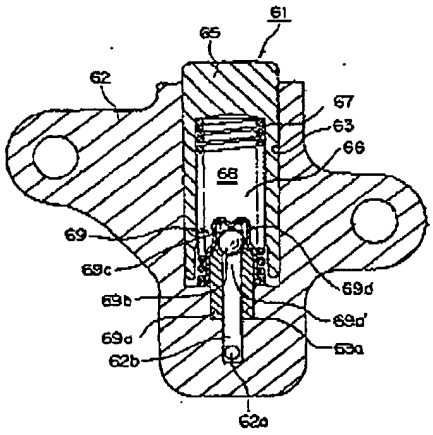
【図6】



【図7】



【図8】



BEST AVAILABLE COPY